



### 研修紹介

### これからの博物館の役割

平成30年12月17日(月)JMSアステールプラザにおいて、国立科学博物館 館長 林 良博 氏をお迎えして「21世紀教育セミナー」を開催しました。

講演では、①未来を担う「子どもとともに」、②専門家だけではなく「市民とともに」、③それぞれの特色を生かし「地域とともに」という3つの視点を踏まえ、新たな取組や変革を展開していく必要性など、これからの博物館の具体的な役割についてお話していただきましたので、ご紹介します。



視 点	これからの博物館の役割
①子どもとともに	すぐに役立つ研究にだけとられず、様々な角度から好奇心を育てていくこと。
②市民とともに	その地域特有の可能性を秘めている地元の小さな博物館を、社会教育に活用すること。
③地域とともに	日本や世界の生き物の多様性を取り上げ、自然の豊かさを実感させること。
	先人の生活や功績を取り上げ、歴史を正しく伝える力を育てていくこと。
【受講者の感想】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 博物館の取組のように、教師が情報収集に努め、普段の学習に取り入れられるものを探ることが、子どもの興味・関心を高める一つ的手段であると感じました。</li> <li>○ 今日の話で博物館を身近に感じたので、自ら足を運び、その楽しさを子どもたちに伝え、社会教育の場として積極的に利用していく必要性を感じました。</li> <li>○ 「子ども」と「市民」と「地域」とともにある博物館という話に共感できました。子どもたちが自らの可能性をしっかりと発揮し、よりよい社会の創り手となるよう、実践をしていきたいと強く感じました。</li> </ul>

### おしらせ

### 教員長期研修報告会



教員長期研修では、本年度5名の教員が、教育センターで1年間の様々な研修に励んでいます。中でも、専門的知識・技能の向上を図るため、文献研究や検証授業の実践、分析・考察などを通して、授業改善の手立てについて研究を進めてきました。

この度、1年間取り組んできた成果を発表する報告会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。なお、参加申込の詳しい案内については、各園・校に通知しておりますので、ご確認ください。

#### 【研修報告会の実施】

日時：平成31年3月18日(月) 14:00~16:45 場所：広島市教育センター

研修生名	研究主題
安西幼稚園 安永 陽子 教諭	「幼児の言葉による伝え合いを育む援助に向けての実践的研究」 -「幼児の『話す・聞く・伝え合う』育ちの見取り表」の活用を通して-
井口小学校 熊野 彩 教諭	「小学校国語科第4学年『話すこと・聞くこと』における『話し合う力』を高めるための指導方法の工夫」 -段階的な学習過程と「台本型手びき」を取り入れた言語活動を通して-
中野小学校 田部 彩香 教諭	「特別の教科 道徳において多面的・多角的な考えを引き出すための指導の工夫」 -立場を交代した役割演技を通して-
藤の木小学校 村中 智彦 教諭	「プログラミング教育に係る『知識及び技能』を習得させる指導方法の工夫」 -フローチャートを取り入れたワークシートの活用を通して(小学校理科)-
庚午中学校 渡邊 一生 教諭	「中学校数学科図形領域における数学的に推論する力を養うための指導方法の工夫」 -数学理解の過程に沿った「証明のしくみ学習シート」の活用を通して-